

2023年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月15日

上場取引所 東

上場会社名 フローバル株式会社

コード番号 7132

URL <https://www.flobal.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡田 吉高

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 高瀬 博

TEL 06(6536)2687

中間発行情報提出予定日 2022年12月30日

配当支払開始予定日

—

中間決算補足説明資料作成の有無：無

中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期中間期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期中間期	3,122	18.0	70	△36.4	71	△41.5	44	△44.9
2022年3月期中間期	2,645	—	110	—	122	—	80	—

(注) 包括利益 2023年3月期中間期 62百万円 (△24.4%) 2022年3月期中間期 83百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期中間期	96.37	—
2022年3月期中間期	175.16	—

(注) 1. 当社は、2021年3月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期中間期	4,451	2,193	2,193	2,193	49.3
2022年3月期	3,408	2,122	2,122	2,122	62.3

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 2,193百万円 2022年3月期 2,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	0.00	0.00	0.00
2023年3月期	0.00	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,881	9.1	120	△26.6	137	△25.8	88	△65.4	192.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期中間期	487,080株	2022年3月期	487,080株
② 期末自己株式数	2023年3月期中間期	26,800株	2022年3月期	28,800株
③ 期中平均株式数（中間期）	2023年3月期中間期	458,979株	2022年3月期中間期	458,477株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算の経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
①中間連結損益計算書	7
②中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算の経営成績等の概況

（1）経営成績の概況

当中間連結会計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響が続くなか、行動制限の緩和等により社会経済活動の回復に向けた動きが見受けられたものの、ウクライナ情勢に起因する資源・原材料単価の高騰や世界的なインフレーション、急激な円安の進行や海外景気の下振れなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する機械器具業界（機械器具卸売業及び機械器具小売業）では、需要先である製造業や建設業で部材の仕入価格の上昇や供給制約などにより生産活動に影響がみられたものの、製造業では設備投資需要は持ち直しの動きを示し、建設業では新設住宅着工戸数やリフォーム需要は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、さまざまなリスクに備えながら積極的に事業展開を継続し、収益の確保に取り組んでまいりました。

当社グループの卸売・小売・海外の各販売事業では、需要先の成長分野や好況業種を対象に、新規開拓や既存顧客の深耕、新商品の拡販、仕入価格の上昇に伴う価格改定などの活動に注力しました。

また、各事業に新商品を供給する商品開発業務では、当期に自社オリジナル商品の空調冷媒配管向けフレアリングツール「フレアロケット」、海外提携メーカー製品の「ねじ込み式可鍛鉄製管継手」などを上市しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,122,077千円（前年同期比18.0%増加）、営業利益70,346千円（前年同期比36.4%減少）となりました。また、経常利益は71,527千円（前年同期比41.5%減少）、親会社株主に帰属する中間純利益は44,233千円（前年同期比44.9%減少）となりました。

（2）財政状態の概況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ、947,889千円増加し、4,058,762千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加366,508千円、商品の増加528,642千円、電子記録債権の増加59,707千円であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ、94,990千円増加し、393,113千円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定の増加104,611千円、繰延税金資産の減少9,813千円であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ、955,707千円増加し、2,126,695千円となりました。主な要因は、短期借入金の増加930,000千円、電子記録債務の増加30,118千円、未払法人税等の減少26,520千円であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ、16,300千円増加し、131,748千円となりました。主な要因は、その他に含まれる長期未払金の増加16,718千円であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ、70,872千円増加し、2,193,430千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加44,233千円、繰延ヘッジ損益の増加10,500千円、為替換算調整勘定の増加8,599千円であります。

（3）キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ、365,750千円増加し、886,524千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、463,526千円の支出となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益71,527千円、仕入債務の増加額48,814千円、未収消費税等の減少額32,011千円によるものであり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額520,300千円、売上債権の増加額69,741千円、法人税等の支払額49,855千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、112,984千円の支出となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出109,361千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、933,661千円の収入となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額930,000千円であり、支出の内訳は、リース債務の返済による支出4,338千円によるものであります。

（4）今後の見通し

2023年3月期における通期業績予測につきましては、2022年5月13日付の決算短信で公表した業績予想から変更しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,330	888,838
受取手形及び売掛金	902,640	912,601
電子記録債権	285,063	344,771
商品	1,288,409	1,817,051
貯蔵品	22,655	14,313
前渡金	24,562	38,045
未収消費税等	42,456	10,459
その他	22,967	32,894
貸倒引当金	△213	△214
流動資産合計	3,110,873	4,058,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	66,679	63,080
リース資産 (純額)	17,450	15,153
その他 (純額)	11,320	14,455
有形固定資産合計	95,449	92,689
無形固定資産		
リース資産	5,669	3,995
ソフトウェア仮勘定	42,850	147,461
その他	11,479	14,883
無形固定資産合計	59,998	166,340
投資その他の資産		
投資有価証券	10,740	11,916
差入保証金	68,365	63,592
繰延税金資産	53,603	43,789
その他	11,716	16,609
貸倒引当金	△1,752	△1,824
投資その他の資産合計	142,673	134,083
固定資産合計	298,122	393,113
資産合計	3,408,995	4,451,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,694	378,389
電子記録債務	355,103	385,221
短期借入金	170,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
リース債務	8,413	7,920
未払金	117,696	122,210
未払法人税等	49,605	23,084
契約負債	12,453	11,130
賞与引当金	36,253	32,240
その他	21,768	26,497
流動負債合計	1,170,988	2,126,695
固定負債		
リース債務	17,161	13,316
役員退職慰労引当金	44,211	47,478
退職給付に係る負債	12,731	13,902
資産除去債務	41,343	40,333
その他	—	16,718
固定負債合計	115,448	131,748
負債合計	1,286,437	2,258,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	9,470	15,340
利益剰余金	2,050,987	2,095,220
自己株式	△30,661	△28,531
株主資本合計	2,119,796	2,172,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,752	2,290
繰延ヘッジ損益	—	10,500
為替換算調整勘定	10	8,609
その他の包括利益累計額合計	2,762	21,401
純資産合計	2,122,558	2,193,430
負債純資産合計	3,408,995	4,451,875

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,645,209	3,122,077
売上原価	1,793,642	2,246,471
売上総利益	851,567	875,605
販売費及び一般管理費	740,905	805,259
営業利益	110,662	70,346
営業外収益		
受取利息	47	98
受取配当金	203	234
仕入割引	2,423	1,618
雑収入	848	4,322
その他	14,149	283
営業外収益合計	17,673	6,557
営業外費用		
支払利息	211	532
売上割引	3,719	3,959
ファクタリング売却損	511	605
その他	1,721	279
営業外費用合計	6,163	5,377
経常利益	122,171	71,527
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失計	—	0
税金等調整前中間純利益	122,171	71,527
法人税、住民税及び事業税	46,501	22,780
法人税等調整額	△4,637	4,513
法人税等合計	41,863	27,293
中間純利益	80,308	44,233
親会社株主に帰属する中間純利益	80,308	44,233

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益	80,308	44,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	△461
繰延ヘッジ損益	△2,207	10,500
為替換算調整勘定	4,726	8,599
その他の包括利益合計	2,800	18,639
中間包括利益	83,108	62,872
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	83,108	62,872
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	9,470	1,796,022	△29,903	1,865,588
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益	—	—	80,308	—	80,308
自己株式の取得	—	—	—	△757	△757
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)					
当中間期変動額合計	—	—	80,308	△757	79,551
当中間期末残高	90,000	9,470	1,876,330	△30,661	1,945,139

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,938	4,710	12,772	19,422	1,885,010
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益	—	—	—	—	80,308
自己株式の取得	—	—	—	—	△757
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	280	△2,207	4,726	2,800	2,800
当中間期変動額合計	280	△2,207	4,726	2,800	82,351
当中間期末残高	2,219	2,503	17,499	22,222	1,967,362

当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	9,470	2,050,987	△30,661	2,119,796
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益	—	—	44,233	—	44,233
自己株式の処分	—	5,870	—	2,130	8,000
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)					
当中間期変動額合計	—	5,870	44,233	2,130	52,233
当中間期末残高	90,000	15,340	2,095,220	△28,531	2,172,029

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,752	—	10	2,762	2,122,558
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益	—	—	—	—	44,233
自己株式の処分	—	—	—	—	8,000
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△461	10,500	8,599	18,639	18,639
当中間期変動額合計	△461	10,500	8,599	18,639	70,872
当中間期末残高	2,290	10,500	8,609	21,401	2,193,430

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	122,171	71,527
減価償却費	11,702	11,904
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,086	3,266
賞与引当金の増減額 (△は減少)	428	△4,012
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69	72
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	555	1,170
受取利息及び受取配当金	△251	△333
支払利息	211	532
売上債権の増減額 (△は増加)	△102,989	△69,741
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△227,739	△520,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,917	48,814
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	32,011
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,658	—
その他	△7,157	11,647
小計	△247,487	△413,441
利息及び配当金の受取額	251	333
利息の支払額	△193	△563
法人税等の支払額	△23,971	△49,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271,400	△463,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△564	—
定期預金の払戻による収入	—	△757
有形固定資産の取得による支出	△14,547	△5,548
有形固定資産の売却による収入	326,647	—
無形固定資産の取得による支出	△15,601	△109,361
投資有価証券の取得による支出	△98	△1,881
差入保証金の差入による支出	△203	△2,074
差入保証金の回収による収入	25,200	6,848
その他	△209	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	320,622	△112,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,000	930,000
長期借入金の返済による支出	△28,307	—
自己株式の処分による収入	—	8,000
自己株式の取得による支出	△757	—
リース債務の返済による支出	△3,912	△4,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,023	933,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,199	8,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81,444	365,750
現金及び現金同等物の期首残高	596,908	520,773
現金及び現金同等物の中間期末残高	678,352	886,524

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは単一セグメントであるため、該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。